

2016年10月24日 全6頁

## Indicators Update

### 9月貿易統計

米国向け輸出が反発。輸入減で7-9月期の外需寄与は大幅プラスへ

エコノミック・インテリジェンス・チーム  
エコノミスト 齋藤 勉  
エコノミスト 小林 俊介

#### [要約]

- 2016年9月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲6.9%と、12ヶ月連続で前年を下回ったが、前年比伸び率のマイナス幅は前月から縮小した。前月大幅に減少していた米国向け輸出数量がプラスに転じたことが、9月の輸出金額上振れの主因である。輸入金額は同▲16.3%と21ヶ月連続で前年を下回った。この結果、貿易収支は4,983億円と2ヶ月ぶりの黒字となった。なお、貿易統計の結果から推計すると、7-9月期のGDPに対する外需寄与度は、輸入減少を主因として大幅なプラス寄与となることが見込まれる。
- 季節調整値で見た輸出金額は前月比+0.3%と2ヶ月連続の増加、輸出数量は同+1.8%（季節調整値は大和総研）と3ヶ月ぶりの増加となった。輸出数量を地域別に見ると、米国向けが同+9.9%と、大幅に減少した前月から反発した。EU向けは同+1.6%と3ヶ月ぶりの増加、アジア向けは同▲1.6%と、2ヶ月ぶりの減少となった。品目別では、前月大幅に減少した米国向け自動車輸出台数が反発した。また、自動車部品輸出が米国向け、欧州向け、アジア向けで増加したことも輸出数量の押し上げに寄与した。
- 先行きの輸出は、強弱入り混じりながらも横ばい圏での動きを続ける公算が大きい。世界全体の緩和的な金融環境に支えられる形で家計消費関連需要は相対的に好調である一方、低稼働率と資源価格の低迷が続く中で企業部門需要に相当する素材・資本財の本格的な回復には相応の時間を要するだろう。

図表1：貿易統計の概況（原系列、前年比、%）

	2016年								
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
輸出金額	▲12.9	▲4.0	▲6.8	▲10.1	▲11.3	▲7.4	▲14.0	▲9.6	▲6.9
コンセンサス									▲10.8
DIR予想									▲14.2
輸入金額	▲17.8	▲14.2	▲14.9	▲23.3	▲13.7	▲18.7	▲24.6	▲17.2	▲16.3
輸出数量	▲9.1	0.2	▲1.0	▲4.6	▲2.4	3.1	▲2.4	0.8	▲4.7
価格	▲4.1	▲4.2	▲5.8	▲5.7	▲9.1	▲10.1	▲11.9	▲10.3	▲11.1
輸入数量	▲5.0	▲2.5	5.2	▲7.5	3.6	0.4	▲4.0	3.8	▲1.6
価格	▲13.5	▲12.0	▲19.0	▲17.0	▲16.7	▲19.1	▲21.5	▲20.3	▲14.9
貿易収支	▲6,477	2,399	7,491	8,207	▲429	6,907	5,104	▲192	4,983

(注1) 貿易収支は億円。

(注2) コンセンサスはBloomberg。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

## 貿易収支は2ヶ月ぶりの黒字、7-9月期の外需寄与は大幅プラスへ

2016年9月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲6.9%と、12ヶ月連続で前年を下回ったが、前年比伸び率のマイナス幅は前月（8月：同▲9.6%）から縮小し、事前コンセンサス（同▲10.8%）も上回った。前月大幅に減少していた米国向け輸出数量がプラスに転じた（8月：同▲5.6%→9月：同+4.7%）ことが、9月の輸出金額上振れの主因である。一方、為替の円高方向への推移が続いていることに伴い（9月の税関長公示レート：101.85円/ドル、前年比15.8%の円高）、輸出価格（前年比▲11.1%）の低下が続いていることが、輸出金額の下押しに寄与している。輸入金額は同▲16.3%と21ヶ月連続で前年を下回った。この結果、貿易収支は4,983億円と2ヶ月ぶりの黒字となった。なお、貿易統計の結果から推計すると、7-9月期のGDPに対する外需寄与度は、輸入減少を主因として大幅なプラス寄与となることが見込まれる。

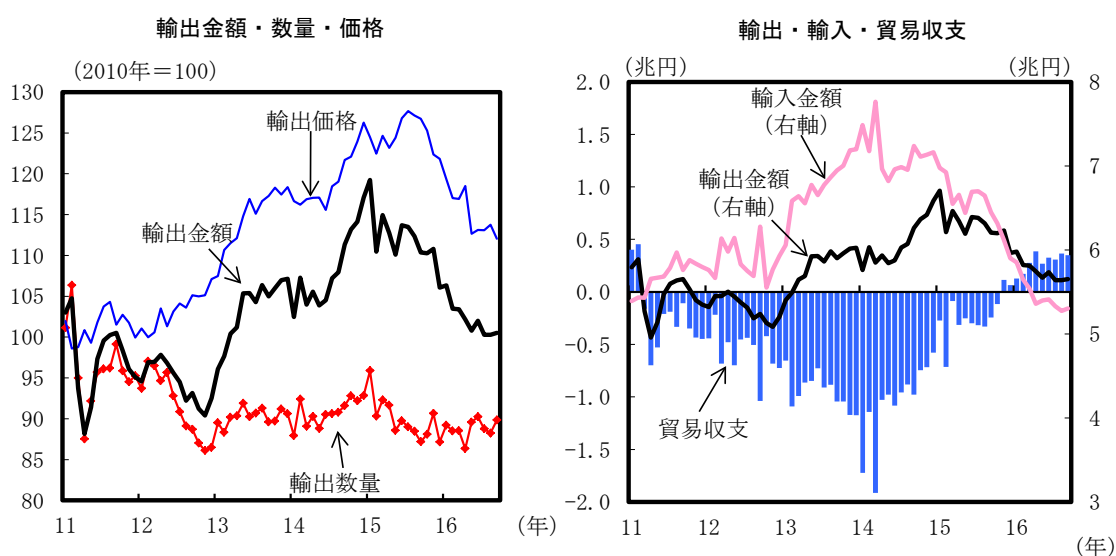
### 輸出数量は前月比+1.8%と3ヶ月ぶりの増加。米国向け自動車の反発が主因

季節調整値で見た輸出金額は前月比+0.3%と2ヶ月連続の増加、輸出数量は同+1.8%（季節調整値は大和総研）と3ヶ月ぶりの増加となった。輸出数量を地域別に見ると、米国向けが同+9.9%と、大幅に減少した前月から反発した。EU向けは同+1.6%と3ヶ月ぶりの増加、アジア向けは同▲1.6%と、2ヶ月ぶりの減少となった。

品目別では、前月大幅に減少した米国向け自動車輸出台数が反発した。また、自動車部品輸出が米国向け、欧州向け、アジア向けで増加したことも輸出数量の押し上げに寄与した。

なお、このところ増加の続いていたアジア向けICの輸出数量は前月比横ばいとなったものの、引き続き高い水準での推移が続いている。一方、前月まで緩やかな増加基調にあった電算機類の輸出数量が減少したほか、記録媒体では大幅に輸出数量が減少した模様である。電気機械関連輸出は強弱入り混じる結果であり、品目ごとに動向を見極める必要があると言えよう。

図表2：輸出金額・数量・価格、貿易収支（季節調整値）



## 円高の影響により輸入金額は前年割れが続くが、原油価格反発によりマイナス幅は縮小

輸入金額を価格要因と数量要因とに分けてみると、輸入価格は前年比▲14.9%、輸入数量は同▲1.6%となった。引き続き、円高による輸入価格下落が輸入金額の下押しに大きく寄与しているが、原油価格の反発を受けて輸入価格の前年比マイナス幅は前月（8月：同▲20.3%）から縮小した。

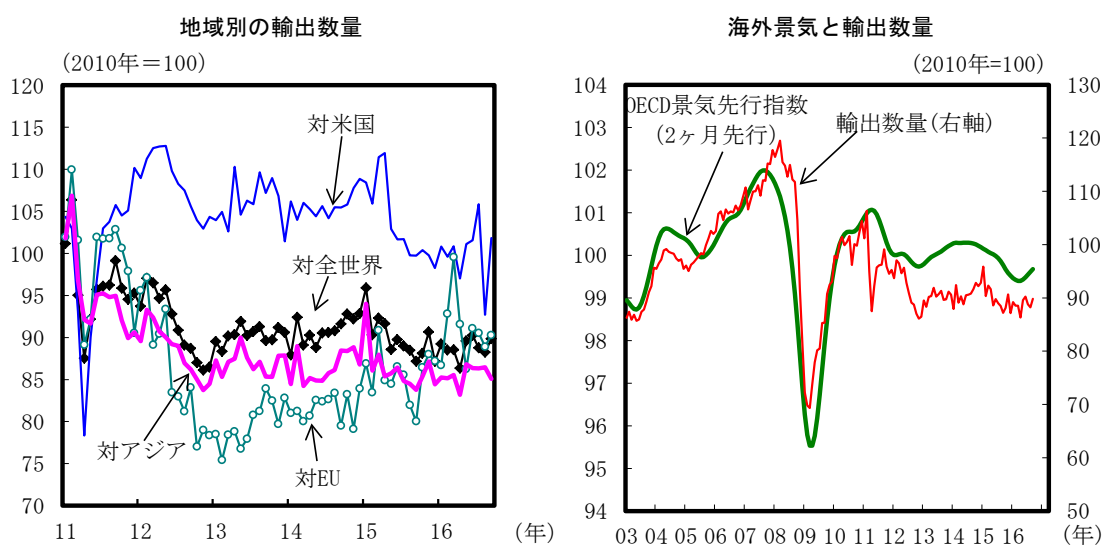
輸入金額（季節調整値）は、前月比+0.6%と3ヶ月ぶりの増加となり、貿易収支（季節調整値）は3,490億円の黒字となった。輸入数量は、前月比▲0.2%（季節調整値は大和総研）と3ヶ月連続の減少となった。

## 先行きは横ばい圏の推移を見込む

先行きの輸出は、海外経済が緩やかな成長を続ける中、強弱入り混じりながらも横ばい圏での動きを続ける公算が大きい。米国経済には減速感が見られるが、雇用環境の改善等を背景として、消費財等の米国向け輸出は底堅い推移が継続するだろう。欧州向け輸出については、原油価格下落やECBによる量的緩和の効果等から持ち直しており、均してみれば回復基調が継続すると見込んでいる。アジア経済に関しては、米国経済減速とドル安・金利低下を背景として資金流出に落ち着きが見られ始めている。こうした外部環境の好転と金融緩和の効果を反映して消費財等の需要に回復が見込まれよう。

ただし、海外需要の回復が本格的かつ継続的に発現するまでには相応の時間を要するものとみられる。とりわけ企業収益の伸びが低位にとどまる米国向けと、過剰設備の調整が必要なアジア向けの資本財や素材の輸出不振が当面続く可能性が高い。

図表3：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



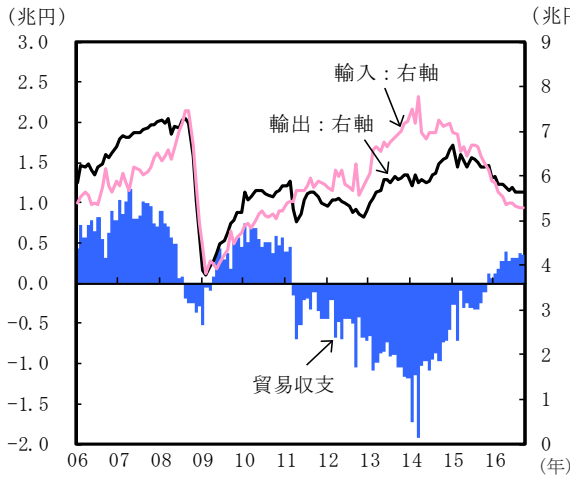
(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

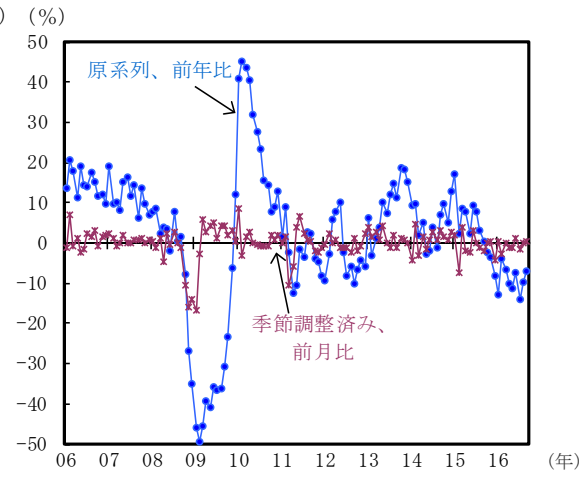
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

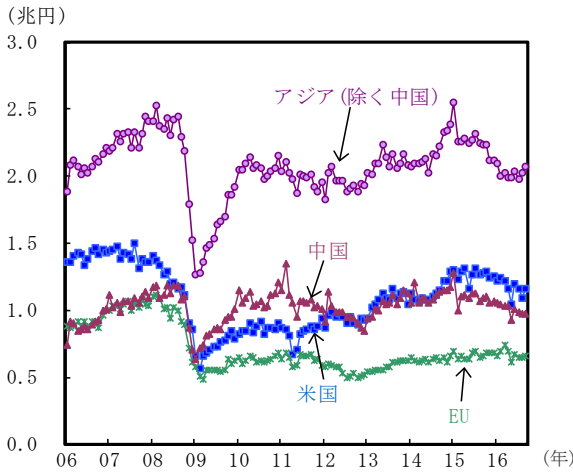


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

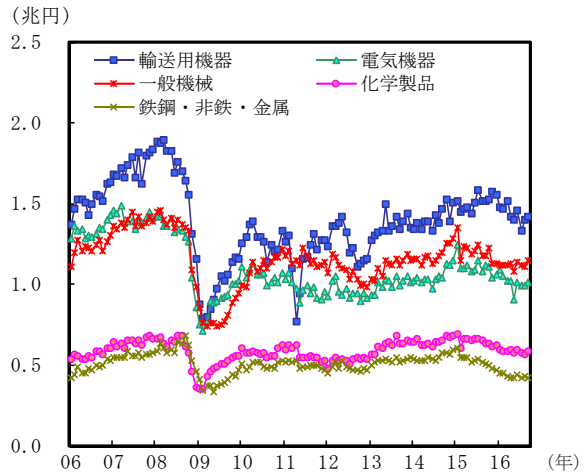


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

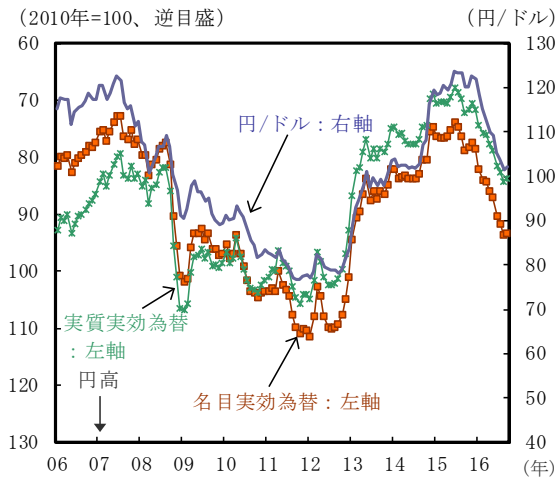


(注) 季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

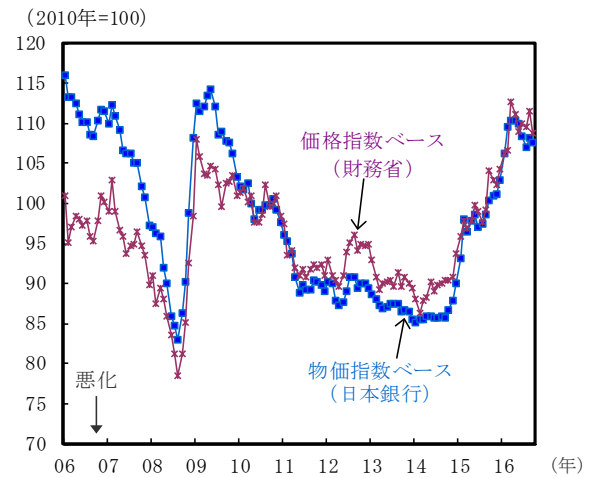


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。  
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2016/04	2016/05	2016/06	2016/07	2016/08	2016/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲10.1	▲11.3	▲7.4	▲14.0	▲9.6	▲6.9	100.0	▲6.9
食料品	2.2	▲0.9	13.7	▲3.4	▲6.9	7.6	0.9	0.1
原料品	▲13.6	▲19.5	▲20.2	▲24.4	▲23.3	▲19.7	1.2	▲0.3
鉱物性燃料	▲44.4	▲7.5	▲25.1	▲40.6	▲26.9	▲34.0	1.3	▲0.6
化学製品	▲10.4	▲12.6	▲10.4	▲11.7	▲12.2	▲7.2	9.4	▲0.7
原料別製品	▲18.0	▲18.1	▲14.5	▲19.3	▲17.0	▲13.3	10.7	▲1.5
鉄鋼	▲32.0	▲24.1	▲24.2	▲21.7	▲20.4	▲20.9	3.8	▲0.9
非鉄金属	▲11.9	▲17.8	▲16.4	▲20.5	▲19.8	▲12.8	1.7	▲0.2
金属製品	▲10.1	▲11.1	3.3	▲18.7	▲8.1	▲6.4	1.5	▲0.1
一般機械	▲7.2	▲9.5	▲5.9	▲9.7	▲6.1	▲2.1	19.0	▲0.4
電気機器	▲8.7	▲16.1	▲7.4	▲13.4	▲8.5	▲9.9	18.1	▲1.9
半導体等電子部品	▲10.8	▲20.0	▲11.3	▲11.4	▲12.3	▲11.8	5.3	▲0.7
I C	▲12.5	▲21.7	▲13.2	▲11.7	▲13.2	▲13.8	3.6	▲0.5
映像記録・再生機器	▲16.1	▲21.5	▲22.2	▲35.4	4.1	▲8.5	0.6	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲14.6	▲27.8	▲22.4	▲25.0	▲16.3	▲26.1	0.4	▲0.1
電気回路等の機器	▲10.1	▲17.2	▲6.5	▲9.3	▲1.0	5.8	2.7	0.1
輸送用機器	▲3.6	▲3.4	▲3.0	▲15.4	▲8.4	▲6.0	25.6	▲1.5
自動車	▲6.7	▲2.2	▲7.5	▲11.5	▲9.4	▲7.2	17.1	▲1.2
自動車の部分品	▲3.2	▲2.9	▲0.8	▲9.2	0.1	2.9	5.1	0.1
その他	▲14.9	▲12.2	▲5.8	▲10.8	▲4.8	▲1.0	13.9	▲0.1
科学光学機器	▲12.5	▲21.4	▲16.5	▲18.7	▲15.8	▲9.7	3.1	▲0.3

米国向け輸出金額 内訳								
	2016/04	2016/05	2016/06	2016/07	2016/08	2016/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲11.8	▲10.7	▲6.5	▲11.8	▲14.5	▲8.7	100.0	▲8.7
食料品	▲11.4	▲16.6	30.9	3.1	▲9.5	▲0.5	0.6	▲0.0
原料品	58.4	▲27.1	▲20.8	▲31.6	▲41.9	▲44.6	0.4	▲0.3
鉱物性燃料	▲36.2	▲47.9	▲59.8	▲51.4	9.2	10.0	0.5	0.0
化学製品	▲2.9	▲2.6	▲11.4	▲14.6	▲12.9	▲20.8	4.7	▲1.1
原料別製品	▲21.9	▲18.8	▲19.7	▲11.6	▲22.0	▲12.6	6.2	▲0.8
鉄鋼	▲39.1	▲39.3	▲34.1	8.4	▲33.8	▲23.1	1.3	▲0.4
非鉄金属	▲12.6	▲25.4	▲16.7	▲14.8	▲12.4	▲8.5	0.5	▲0.0
金属製品	▲12.8	8.7	▲10.8	▲14.5	▲15.7	▲7.5	1.5	▲0.1
一般機械	▲8.5	▲15.0	▲5.8	▲10.6	▲16.3	▲5.9	20.8	▲1.2
電気機器	▲3.8	▲14.1	▲8.1	▲15.0	▲13.0	▲15.3	14.2	▲2.3
半導体等電子部品	▲10.5	▲28.3	▲22.0	▲22.7	▲13.3	▲22.4	1.9	▲0.5
I C	▲4.7	▲29.9	▲23.1	▲24.9	▲13.3	▲20.8	0.9	▲0.2
映像記録・再生機器	▲9.8	▲22.8	▲26.7	▲32.0	▲7.7	▲25.9	0.8	▲0.3
音響・映像機器の部分品	10.4	149.3	▲10.5	▲3.0	▲41.0	5.5	0.3	0.0
電気回路等の機器	▲7.0	▲9.9	0.5	▲10.7	▲2.2	1.7	1.6	0.0
輸送用機器	▲5.4	▲3.7	▲5.3	▲10.8	▲11.7	▲6.4	42.6	▲2.7
自動車	▲4.4	▲1.5	▲6.7	▲9.9	▲11.4	▲7.3	32.0	▲2.3
自動車の部分品	▲8.5	▲13.4	8.5	▲4.7	▲5.8	10.6	6.7	0.6
その他	▲40.4	▲15.3	4.7	▲9.8	▲17.0	▲3.5	9.9	▲0.3
科学光学機器	▲0.3	▲15.2	8.3	▲8.8	▲18.7	▲11.2	2.0	▲0.2

EU向け輸出金額 内訳								
	2016/04	2016/05	2016/06	2016/07	2016/08	2016/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	9.9	▲4.0	▲0.4	▲6.5	▲0.7	0.7	100.0	0.7
食料品	37.1	17.0	1.2	▲1.3	▲16.1	7.0	0.4	0.0
原料品	1.5	6.6	13.3	4.1	▲11.0	0.6	0.8	0.0
鉱物性燃料	▲36.6	6.5	7.1	▲70.2	▲8.5	24.2	0.2	0.0
化学製品	▲5.9	▲11.4	▲9.8	▲8.3	▲16.7	▲6.9	7.5	▲0.6
原料別製品	6.1	▲9.2	▲1.2	▲23.5	▲7.5	▲15.0	6.3	▲1.1
鉄鋼	9.4	4.4	0.1	▲54.4	14.3	▲42.7	1.1	▲0.8
非鉄金属	▲14.9	▲35.2	▲6.7	▲29.5	▲21.3	▲17.4	0.6	▲0.1
金属製品	10.9	▲12.9	▲2.0	▲7.6	▲0.7	▲9.3	1.3	▲0.1
一般機械	3.2	▲7.7	▲2.2	▲12.7	▲7.7	▲7.4	22.2	▲1.8
電気機器	1.4	▲11.4	▲4.2	▲13.0	▲8.4	▲4.4	17.7	▲0.8
半導体等電子部品	▲0.6	▲9.2	0.3	▲5.6	▲15.1	▲1.5	2.4	▲0.0
I C	▲6.5	▲12.6	▲1.9	▲13.2	▲12.5	▲5.1	1.3	▲0.1
映像記録・再生機器	▲3.1	▲27.0	▲17.2	▲19.8	▲9.6	▲7.5	0.9	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲22.2	▲44.7	▲21.5	▲31.8	▲1.1	▲34.7	0.4	▲0.2
電気回路等の機器	6.7	▲8.4	5.5	▲8.9	▲11.9	▲0.3	1.7	▲0.0
輸送用機器	30.1	12.7	2.7	▲5.2	15.0	2.8	27.1	0.7
自動車	29.3	8.3	8.1	▲8.3	12.7	3.4	16.9	0.6
自動車の部分品	19.3	23.3	5.9	1.9	8.9	11.8	6.2	0.7
その他	17.8	▲4.8	6.3	23.4	12.7	30.7	17.8	4.2
科学光学機器	9.4	▲9.8	▲9.2	▲10.7	▲17.3	▲10.0	2.9	▲0.3

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2016/04	2016/05	2016/06	2016/07	2016/08	2016/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲11.1	▲13.0	▲10.6	▲13.8	▲9.4	▲8.4	100.0	▲8.4
食料品	3.9	4.2	12.7	▲2.8	▲3.8	13.7	1.2	0.1
原料品	▲18.4	▲21.6	▲22.0	▲25.4	▲20.0	▲17.0	1.8	▲0.3
鉱物性燃料	▲32.7	3.9	▲32.8	▲43.9	▲22.9	▲35.7	1.4	▲0.7
化学製品	▲11.2	▲14.0	▲11.0	▲10.7	▲11.6	▲4.6	13.6	▲0.6
原料別製品	▲17.3	▲17.0	▲13.1	▲17.9	▲15.3	▲12.7	13.8	▲1.8
鉄鋼	▲30.1	▲21.4	▲24.8	▲20.6	▲17.6	▲19.9	5.2	▲1.2
非鉄金属	▲12.4	▲16.4	▲15.7	▲19.8	▲20.5	▲12.6	2.9	▲0.4
金属製品	▲8.0	▲13.5	14.8	▲20.5	▲3.9	▲5.5	1.7	▲0.1
一般機械	▲7.1	▲7.5	▲7.9	▲8.0	▲1.7	2.0	19.2	0.4
電気機器	▲10.7	▲18.3	▲8.1	▲12.9	▲7.8	▲9.4	23.4	▲2.2
半導体等電子部品	▲11.6	▲20.2	▲11.4	▲10.9	▲12.2	▲11.6	8.9	▲1.1
I C	▲13.4	▲21.8	▲13.1	▲10.8	▲13.2	▲13.7	6.3	▲0.9
映像記録・再生機器	▲23.1	▲14.8	▲18.8	▲41.3	29.3	6.0	0.5	0.0
音響・映像機器の部分品	▲17.2	▲44.1	▲28.2	▲24.3	▲25.0	▲18.9	0.5	▲0.1
電気回路等の機器	▲12.1	▲20.3	▲8.7	▲7.8	1.3	10.6	3.9	0.3
輸送用機器	▲3.5	1.6	▲13.7	▲7.9	▲6.2	▲14.3	9.3	▲1.4
自動車	▲3.0	1.7	▲6.4	▲15.6	▲12.1	▲9.2	4.8	▲0.5
自動車の部分品	3.3	▲2.0	▲4.2	▲5.8	3.9	3.9	4.0	0.1
その他	▲11.6	▲16.4	▲9.2	▲19.6	▲11.6	▲10.4	16.2	▲1.7
科学光学機器	▲17.6	▲24.8	▲21.5	▲21.7	▲15.1	▲9.6	4.2	▲0.4

中国向け輸出金額 内訳								
	2016/04	2016/05	2016/06	2016/07	2016/08	2016/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲7.7	▲14.9	▲10.0	▲12.7	▲8.8	▲10.6	100.0	▲10.6
食料品	▲36.9	15.4	27.8	25.5	47.6	43.7	0.7	0.2
原料品	▲25.9	▲35.9	▲34.8	▲24.3	▲21.1	▲23.3	2.5	▲0.7
鉱物性燃料	▲38.5	19.6	21.2	▲30.0	48.6	28.8	0.8	0.2
化学製品	▲10.5	▲11.0	▲12.6	▲9.0	▲15.2	▲9.7	13.8	▲1.3
原料別製品	▲14.9	▲16.9	▲19.6	▲16.1	▲15.4	▲7.5	12.1	▲0.9
鉄鋼	▲23.0	▲23.0	▲27.2	▲11.8	▲15.7	▲11.7	3.6	▲0.4
非鉄金属	▲31.5	▲18.2	▲26.4	▲30.8	▲24.4	▲16.9	2.8	▲0.5
金属製品	▲2.2	▲13.7	▲16.5	▲18.8	▲5.4	0.0	1.8	0.0
一般機械	4.5	▲12.6	▲5.5	▲6.6	▲7.1	▲7.4	18.4	▲1.3
電気機器	▲7.5	▲18.1	▲4.7	▲13.0	▲2.0	▲13.7	26.0	▲3.7
半導体等電子部品	▲8.8	▲17.1	▲7.8	▲1.8	▲5.6	▲16.5	8.3	▲1.5
I C	▲8.9	▲16.7	▲8.6	1.5	▲4.9	▲21.2	6.1	▲1.5
映像記録・再生機器	▲10.3	19.4	▲12.8	▲45.1	182.8	10.5	0.8	0.1
音響・映像機器の部分品	▲5.7	▲35.1	5.6	▲32.2	▲35.5	▲33.0	0.8	▲0.4
電気回路等の機器	▲13.6	▲21.2	▲2.0	▲6.1	5.9	20.6	4.6	0.7
輸送用機器	8.1	3.4	▲3.0	▲7.6	▲0.5	▲1.6	10.4	▲0.2
自動車	28.1	36.8	8.1	▲5.6	▲4.6	▲15.9	4.5	▲0.8
自動車の部分品	▲0.7	▲11.4	▲11.6	▲7.2	4.4	14.1	5.7	0.6
その他	▲14.2	▲21.3	▲13.0	▲21.6	▲15.5	▲17.5	15.4	▲2.9
科学光学機器	▲22.3	▲28.6	▲26.2	▲27.6	▲20.3	▲14.7	7.0	▲1.1

(出所) 財務省統計より大和総研作成